

## 2023 年度実施方針

イノベーション推進部

### 1. 件名

研究開発型スタートアップ支援事業

### 2. 根拠法

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構法（平成 14 年法律第 145 号）  
第 15 条第 1 号各項、2 号、3 号、7 号、8 号及び 9 号

### 3. 背景及び目的

我が国では、ベンチャーキャピタル、大企業、インキュベーター等から構築されるスタートアップ・エコシステムが未発達であり、優れたシーズ技術が存在しても、それらを起業に結びつけ、成功まで導くまでに数多の困難がある。また、新たな価値創造は多くの失敗の上に成り立つという社会的コンセンサスがないことなどから起業家精神が育たず、スタートアップの興隆が見られない。

他方、大企業を中心に、行き過ぎた技術の自前主義・自己完結主義から脱却し、多様な外部技術を活用するオープンイノベーションの必要性が高まっており、研究開発型スタートアップとの連携に対する期待は大きくなっている。

研究開発型スタートアップの活性化に向けては、新事業を創出しようという起業家やシード期の研究開発型スタートアップに対し、ハンズオンによる経営・事業化のサポート、事業資金を供給する金融機関等との連携支援及び共同研究等を行う事業会社との連携支援等、その事業化支援を強化していくことが重要である。

本事業では、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（以下「NEDO」という。）のミッションである「エネルギー・環境問題の解決」と「産業競争力の強化」の一環として、2013 年度補正予算で構築した「研究開発型新事業創出支援プラットフォーム」（優れた技術の事業化計画や周辺技術との融合などを促進する仕組み）を活用して、我が国の企業、大学、研究機関等が有する技術シーズの発掘から事業化までを一貫して政策的に支援することにより、研究開発型スタートアップの創出、育成を図り、もって経済活性化、新規産業・雇用の創出につなげることを目的とする。

### 4. 事業内容

#### 4. 1 事業概要

研究開発型スタートアップに対して事業化のための支援を行うことにより、我が国企業、大学、研究機関等の優れた技術を基にした研究開発型スタートアップの創出・育成を促進する。

その他、上記の目的に照らし、オープンイノベーションの促進及び既存の研究開発型

スタートアップ等に対するハンズオン支援を行う。

具体的には次を実施する。

実施項目1 NEDO Technology Commercialization Program (以下「TCP」という。)

実施項目2 NEDO Entrepreneurs Program (以下「NEP」という。)

実施項目3 シード期の研究開発型ベンチャー (Seed-stage Technology-based Startups。以下「STS」という。) に対する事業化支援

実施項目4 企業間連携スタートアップ (Startups in Corporate Alliance。以下「SCA」という。) に対する事業化支援

実施項目5 橋渡し研究開発促進 (Collaboration with Research Institute。以下「CRI」という。) に対する事業化支援

実施項目6 事業会社と連携する事業構想を持つ 研究開発型スタートアップ (Product Commercialization Alliance。以下「PGA」という。)

実施項目7 経済構造の転換に資するスタートアップの事業化促進事業

実施項目8 地域に眠る技術シーズやエネルギー・環境分野の技術シーズ等を活かしたスタートアップの事業化促進事業

#### 4.2 事業方針

2023年度は、新規公募を実施せず、実施項目3のみを継続して実施する。

##### <支援要件>

###### (1) 対象者

実施項目3 STS に対する事業化支援

ベンチャーキャピタル (Venture capital、以下「VC」という) 等は、業として研究開発型スタートアップへの投資や事業化支援を行う機能を有する単独の企業又は複数の企業等による連携体制とする。

STSは、認定されたVC等から一定以上の出資を受ける予定がある本邦法人 (交付決定までに設立予定の法人を含む。) とする。

###### (2) 支援の内容

実施項目3 STS に対する事業化支援

研究開発型スタートアップを支援する国内外のVC等を募集して認定し、その認定されたVC等が出資を行う研究開発型スタートアップに対し、審査を行った上で、事業化のための支援を行う。

###### (3) 審査項目

実施項目3 STS に対する事業化支援

###### ○ 技術評価

コア技術の強み、保有技術、開発体制、開発目標の適切さ、費用計上の適切さ等の観点から審査を行う。

###### ○ 事業性評価

ターゲット市場の適切さ、コア技術の強み、知的財産権の確保、開発目標の適切さ、ビジネスの確度、財務体質等の観点から審査を行う。

○ 事業目的への適合性

本事業の目的に合致していること。

<支援条件等>

(1) 実施期間

実施項目 3 STS に対する事業化支援  
2 年以内。

(2) 事業規模等

実施項目 3 STS に対する事業化支援

以下の条件で、事業化に係る経費（企業化可能性調査費、実用化開発費、労務費等を含む）を助成する。

【助成条件】

1) 助成額

200 百万円以内/(2年)

2) 助成率

2/3以内

(3) 今年度事業規模

約 2,949 百万円（交付金）

4. 3 これまでの事業実施状況

実施項目 1 TCP

(1) 実績額推移

(単位：百万円)

2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
—	275	205	125	77*	77*
2020 年度	2021 年度	2022 年度			
35	35	69(集計中)			

※2018, 2019 年度は他事業と合わせて実施しているため概算値

(2) 応募件数及び採択件数の推移（採択はファイナリストの件数）

2014 年度		2015 年度		2016 年度		2017 年度		2018 年度		2019 年度	
応募	採択	応募	採択	応募	採択	応募	採択	応募	採択	応募	採択
—	—	55 件	14 件	58 件	10 件	50 件	12 件	50 件	17 件	38 件	12 件
2020 年度		2021 年度		2022 年度							
応募	採択	応募	採択	応募	採択						
23 件	12 件	22 件	12 件	28 件	10 件						

## (3) 継続・終了実績（ファイナリストの件数）

年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
継続件数	—	14件	10件	12件	17件	12件
終了件数	—	14件	10件	12件	17件	12件
年度	2020年度	2021年度	2022年度			
継続件数	12件	12件	10件			
終了件数	12件	12件	10件			

## 実施項目2 NEP（2017年度までは「スタートアップイノベーターによる企業化可能性調査」に係る実績）

## (1) 実績額推移（単位：百万円）

2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
388	747	1,146	226	93	77
2020年度	2021年度	2022年度			
178	626	927(集計中)			

## (2) 応募件数及び採択件数の推移

2014年度		2015年度		2016年度		2017年度		2018年度		2019年度	
応募	採択	応募	採択	応募	採択	応募	採択	応募	採択	応募	採択
420件	14件	81件	10件	53件	7件	—	—	90件	20件	45件	13件
2020年度		2021年度		2022年度							
応募	採択	応募	採択	応募	採択						
97件	38件	175件	64件	73件	33件						

## (3) 継続・終了実績

年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
継続件数	14件	19件	7件	7件	20件	13件
終了件数	0件	5件	19件	7件	20件	13件
年度	2020年度	2021年度	2022年度			
継続件数	16件	54件	74件 (集計中)			
終了件数	12件	47件	74件 (集計中)			

実施項目3 STS に対する事業化支援

(1) 実績額推移

(単位：百万円)

2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
—	130	2,150	1,423	455	953
2020年度	2021年度	2022年度			
526	1,034	950(集計中)			

(2) 応募件数及び採択件数の推移

2014年度		2015年度		2016年度		2017年度		2018年度		2019年度	
応募	採択	応募	採択	応募	採択	応募	採択	応募	採択	応募	採択
—	—	47件	19件	26件	13件	38件	22件	50件	18件	40件	11件
2020年度		2021年度		2022年度							
応募	採択	応募	採択	応募	採択						
54件	17件	58件	22件	41件	8件						

(3) 継続・終了実績

年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
継続件数	—	19件	13件	35件	18件	29件
終了件数	—	0件	19件	35件	0件	18件
年度	2020年度	2021年度	2022年度			
継続件数	23件	40件	42件 (集計中)			
終了件数	10件	14件	26件 (集計中)			

実施項目4 SCA に対する事業化支援

(1) 実績額推移

(単位：百万円)

2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
—	—	685	580	170	531
2020年度					
99					

(2) 応募件数及び採択件数の推移

2014年度	2015年度	2016年度		2017年度	2018年度		2019年度	
—	—	応募	採択	—	応募	採択	応募	採択
—	—	72件	12件	—	59件	11件	27件	3件

(3) 継続・終了実績

年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
継続件数	—	—	12件	12件	11件	14件
終了件数	—	—	0件	12件	11件	10件
年度	2020年度					
継続件数	4件					
終了件数	4件					

実施項目5 CRIに対する事業化支援（2019年度実績は2018年度「中堅・中小企業への橋渡し研究開発促進」に係る実績を含む。）

(1) 実績額推移（単位：百万円）

2019年度
248

(2) 応募件数及び採択件数の推移

2019年度	
応募	採択
30件	3件

(3) 継続・終了実績

年度	2019年度	2020年度
継続件数	7件	3件
終了件数	4件	3件

実施項目6 PCAに対する事業化支援

(1) 実績額推移（単位：百万円）

2020年度	2021年度	2022年度
1,274	692	158 (集計中)

(2) 応募件数及び採択件数の推移

2020年度		2021年度		2022年度	
応募	採択	応募	採択	応募	採択
59件	10件	17件	5件	25件	5件

(3) 継続・終了実績

年度	2020年度	2021年度	2022年度
継続件数	10件	6件	5件
終了件数	9件	6件	5件

実施項目 7 経済構造の転換に資するスタートアップの事業化促進事業

(1) 実績額推移 (単位: 百万円)

2021 年度	2022 年度
317	131 (集計中)

(2) 応募件数及び採択件数の推移

2021 年度	
応募	採択
43 件	7 件

(3) 継続・終了実績

年度	2021 年度	2022 年度
継続件数	7 件	7 件
終了件数	0 件	7 件

実施項目 8 地域に眠る技術シーズやエネルギー・環境分野の技術シーズ等を活かしたスタートアップの事業化促進事業

(1) 実績額推移 (単位: 百万円)

2022 年度
1,131 (集計中)

(2) 応募件数及び採択件数の推移

2022 年度	
応募	採択
109 件	40 件

(3) 継続・終了実績

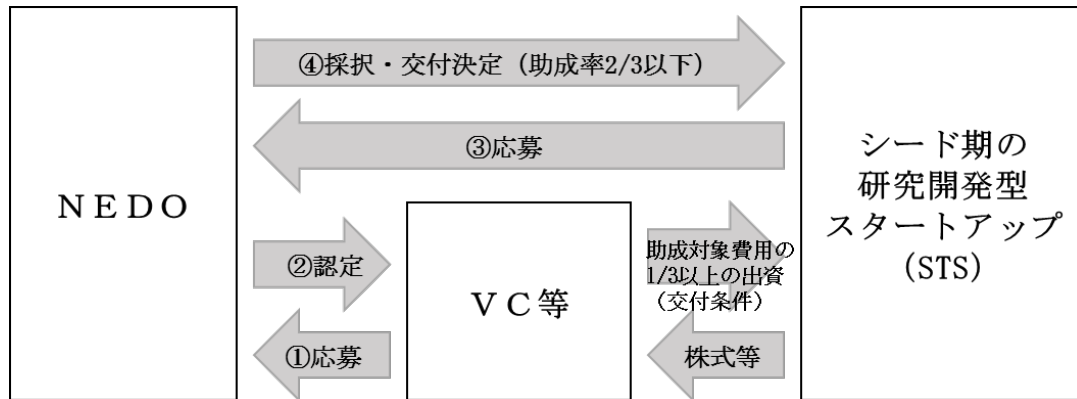
年度	2022 年度
継続件数	40 件 (集計中)
終了件数	40 件 (集計中)

## 5. 事業の実施方式

実施体制については、以下の通り。

### 実施項目 3 STS に対する事業化支援

NEDOは、VC等を募集し、審査を経て優良と認められた場合には認定を行う。続いてNEDOは、認定を受けたVC等が出資を行うことを予定している研究開発型スタートアップの公募を行い、審査を経て交付決定を行う。



- ① NEDOは、VC等を募集し、審査を行う。
- ② NEDOは、VC等の認定を行う。
- ③ NEDOは、認定を受けたVC等が出資を行うことを予定している研究開発型スタートアップを公募し、審査を行う。
- ④ NEDOは、研究開発型スタートアップの採択・交付決定を行う。

## 6. その他重要事項

STS に対する事業化支援について、助成先は前年度と変更はない。

## 7. 実施方針の改訂履歴

2023年 6月 策定